

## 津森小学校

全校児童数 118人

### もしもの時に命を守る 「学び」と食の大切さの伝承

昭和24年、八代市日奈久沖で、修学旅行中だった津森小学校児童ら24人が犠牲となった遊覧船転覆事故。津森小では、その教訓から「着衣水泳」教室や熊本地震で表出した断層の見学会などを開催し、もしものときに命を守るための学習に取り組んでいます。

また、地域のボランティアによる読み聞かせや九九の傾聴、習字、硬筆を行っているほか、稲刈りや大豆収穫を実際に体験したり、地域の方の協力により梅干し作りを行うなど「食」に関する学びも積極的に行っています。



## 益城中央小学校

全校児童数 430人

### 地域で見守る登下校と 校舎内外で行われる「学び」

地区のあちこちで工事が行われている木山地区。大型車両が行き来しているため、益城中央小では、児童の登下校にスクールバスが運行されています。

その見守り活動を行っているのが、学校運営協議会を中心とした地域の皆さんです。バスの昇降口だけではなく交差点などにも立ち、児童が事故に遭わないように気を付けています。

その他にも、パソコン、茶道、和楽器、習字、生け花など校舎内で行う学習から、田植え・稲刈り、地域学習など校舎外で行う学習まで、さまざまな「学び」のために、地域の人たちがボランティアを行っています。

